

エコアクション21

環境経営レポート



(対象期間 2024 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日)

作成日 2025 年 3 月 1 日



株式会社 協和
KYOWA CO.,LTD

【目次】

表紙	P1
目次	P2
1. 環境経営方針	P3
2. 事業概要	P4
3. 対象範囲（認証・登録範囲）	P8
4. 環境負荷の調査結果と取組状況まとめ	P8
5. 環境目標とその実績	P15
6. 環境活動計画の取組み結果と評価、次年度の取組み	P20
7. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	P22
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	P24

【1】環境経営方針

環境経営方針

株式会社 協和 は、地球環境保全が人類共通の最重要課題であることを認識し、当社の事業活動のあらゆる分野で、環境に配慮した行動に努め、住み良い環境の実現とその環境の次世代・次々世代への継承に貢献します。

1. 高崎工場の主力事業である、プラスチック上へのめっき、各種表面処理、プラスチック成形の事業活動。高崎第二工場の主力事業である、金型設計製作(ダイカスト金型・樹脂金型)アルミダイカスト・亜鉛ダイカスト・機械加工の事業活動を通じて、環境経営マネジメントシステムを構築し、環境目標・環境活動計画を定め継続的な改善に努めます。
2. 関連する環境の法規制及び組織が同意するその他の要求事項等を遵守し、環境汚染の防止や、環境保全の継続的改善を図ります。
3. 事業活動のなかで、特に以下の項目を重点的なテーマとして環境目標を設定し取組、必要があれば目標を見直すなど継続的に改善向上をはかっていきます。
 - ① 事業活動で使用する電力、燃料使用量の削減に努めます。
 - ② 事業活動から排出される廃棄物量の削減に努めます。
 - ③ 節水活動による水使用量の削減に努めます。
 - ④ 事業活動で使用する化学物質使用量の削減に努めます。
 - ⑤ 事業活動での使用物品・事務用品のグリーン購入並びに5G活動の推進(原理、原則、現象、現物、現場)で究明対策して不良の削減に努めます。
4. 環境教育を通じて全社員にこの環境方針を周知させると共に、環境教育を実施し、知識・認識の向上に努め、環境保全活動への認識の向上に努めます

この環境方針は、全社員に周知徹底するとともに、一般に公表します

制定日 2012年5月1日

改定日 2019年5月1日

株式会社 協 和

代表取締役 社長

由田 禎滋



【2】事業概要

1) 事業者名及び代表者名

株式会社 **協和**

代表取締役社長

由田 禎滋

ごあいさつ

当社は昭和 24 年 5 月、キヤノン(株)のカメラ部品のめっき加工を主業として創業いたしました。その後、社会のめざましい変遷のなかで、当社に協力を求められたお得意先のご要望にお応えすべく、一貫生産加工体制を各工場別に整備確立してまいりました。ここでは、金型設計製作、亜鉛・アルミダイカスト、精度の高い精密加工、そしてプラスチック射出成形、及びシルク印刷、塗装を含む各種表面処理加工を行ない、お陰様でお得意先のご信頼を賜っております。

昭和 54 年には、シンガポールに進出をはたしました。現在は国内と同レベルの一貫生産加工体制で高品質、高精度の製品と音響機器を中心としたお得意先へ提供しております。今後はさらに情報機器分野への進出をはじめ、時代のニーズに応えつつ世界市場への拡大を図ってまいります。

創業以来、「創造」と「貢献」を旗標として、一に<品質>、二に<納期>、三に<サービス>、四に<コスト>を企業経営の最高理念とし、経営基盤を築いてまいりました。日々、時代を先取りし、研究開発に尽力いたしております。

今後とも次の発展を生み出す創造のエネルギーを蓄積し、皆様のあらゆるご要望にお応えする所存でございます。今後とも、より一層のご愛顧、お引立ての程、よろしくお願い申し上げます。

2) 所在地

本社・高崎工場

工場名：本社・高崎工場

所在地：群馬県高崎市大八木町 588 番地

連絡先

TEL: (027)-361-6434(代)

FAX: (027)-363-2942

URL: <http://www.kyj.co.jp>



事業活動内容

クロムめっき、ベロアめっき、三価クロムめっき(黒)、ホワイトサファイヤめっき、プラスチック射出成形、各種表面処理、二次加工。



高崎第二工場

工場名: 高崎第二工場

所在地: 群馬県高崎市大八木町東谷 949 番地

連絡先

TEL: (027)-361-6952(代)

FAX: (027)-362-1275

URL: <http://www.kyj.co.jp>



事業活動内容

金型設計・製作、ダイカスト鑄造、機械加工・組立、プラスチック射出成形、二次加工。



PC めっき工場

工場名: PC めっき工場

(Programmed Carrier Type Full Automatic Plating Line)

所在地: 群馬県高崎市大八木町東谷 949 -1 番地

連絡先

TEL: (027)-361-6952(代)

FAX: (027)-362-1275

URL: <http://www.kyj.co.jp>



事業活動内容

クロムめっき、サテンめっき、三価クロムめっき(黒)等
自動車外装大物製品、内装特殊色調製品。



川越事務所

工場名:川越事務所

所在地:埼玉県川越市大字下赤坂字大野原 733 番地

TEL:(049)-261-1237(代)

FAX:(049)264-7653

URL: <http://www.kyj.co.jp>



3)環境管理責任者及び事務局

役職		部署	担当者
環境管理責任者		取締役工場長	宇津野 智久
事務局	本社・高崎工場	製造部	富沢 雅紀
	高崎第二工場	ダイカスト加工部	西田 暁人
	川越事務所	本社営業部	樹下 紀之

連絡先 担当者

本社・高崎工場 富沢雅紀

TEL : 027-361-6434(代表)

FAX : 027-363-2942

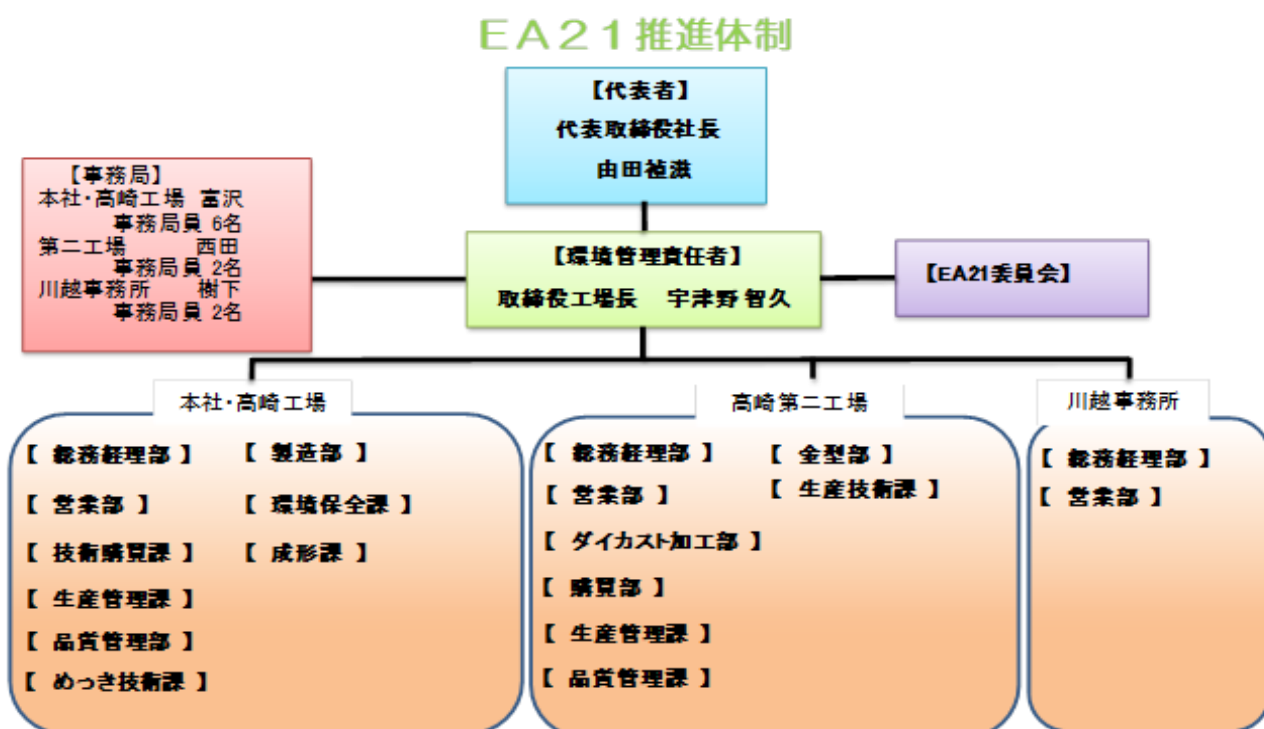
URL : <http://www.kyj.co.jp>

E-mail : m_tomizawa@kyj.co.jp

4)事業規模

活動規模	単位	2024 年度	
売上高	百万円	2,849	
従業員	人	213	
床面積	㎡	本社・高崎工場	6,094.8
		高崎第二工場	7,961.65
		PC めっき工場	7,044.62
		川越事務所	9,838.15

5)エコアクション 21 推進組織図



職 名	役 割
代 表 者	【 由田 祐滋 】 ① 環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。 ② エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源(人材・資金・機器設備・技術技能を含む)を準備する。 ③ 環境方針を制定する。 ④ エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境方針・環境目標をはじめ、システム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。 ⑤ 環境目標・環境活動計画及び環境経営レポートの承認をする。 ⑥ 当社における課題とチャンスを確認にする。
環 境 管 理 責 任 者	【 宇津野 智久 】 ① エコアクション21の要求事項に適合したシステムを構築・実施し、かつ維持されることを確実にすること。 ② 代表者による見直しのための情報として、その構築・実施に関する情報を社長に提供する。 ③ 利害関係者からの苦情、要望等の処理と連絡。 ④ 環境への負荷及び取組への自己チェックの実施。 ⑤ 環境目標及び環境活動計画の策定。 ⑥ 環境経営レポート、環境経営マニュアルの作成。
事 務 局	【 本社・高崎工場 富沢雅紀 事務局長6名、高崎第二工場 西田映人 事務局長2名、川越事務所 樹下紀之 事務局長2名 】 ① 事務局として、環境管理責任者を補佐し、環境経営システムに関する実務全般を所管する。 ② 環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況の確認。 ③ 教育・訓練計画の策定と実施(緊急時対応訓練、テスト含む) ④ 環境文書及び記録の作成と管理。
各 部 門 責 任 者	① 自己の管理範囲における実施責任者として、全員参加による環境経営システムの実施及び管理に責務を負い、部門内の必要な人材育成、パフォーマンスの向上を図る。 ② 環境目標及び実施項目に対する問題点の予防処置、是正処置を実施する。
E A 2 1 委 員 会	① 代表者・環境管理責任者・事務局・各部門責任者で構成し、委員長は、社長(代表者)とする。 ② 環境経営システムに関する経営資源の合理的・効果的な実施を図り、目的を達成する為に、1回/3ヶ月招集して開催する。また、必要に応じて委員を招集し臨時に開催することもある。 ③ この委員会は、環境目標及び環境活動計画の結果確認とエコアクション21に関する審議を行う。

【3】対象範囲（認証・登録範囲）

1) 適用事業範囲

本社・高崎工場	： 群馬県高崎市大八木町 588 番地
高崎第二工場	： 群馬県高崎市大八木町東谷 949 番地
PC めっき工場	： 群馬県高崎市大八木町東谷 949-1 番地
川越事務所	： 埼玉県川越市大字下赤坂字大野原 733 番地

金型設計・製作、アルミダイカスト製品及び亜鉛ダイカスト製品の製造、プラスチック射出成形製品の製造、電気めっき及び各種表面処理加工

2) 活動レポートの対象期間及び発行日

対象期間：2024 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日

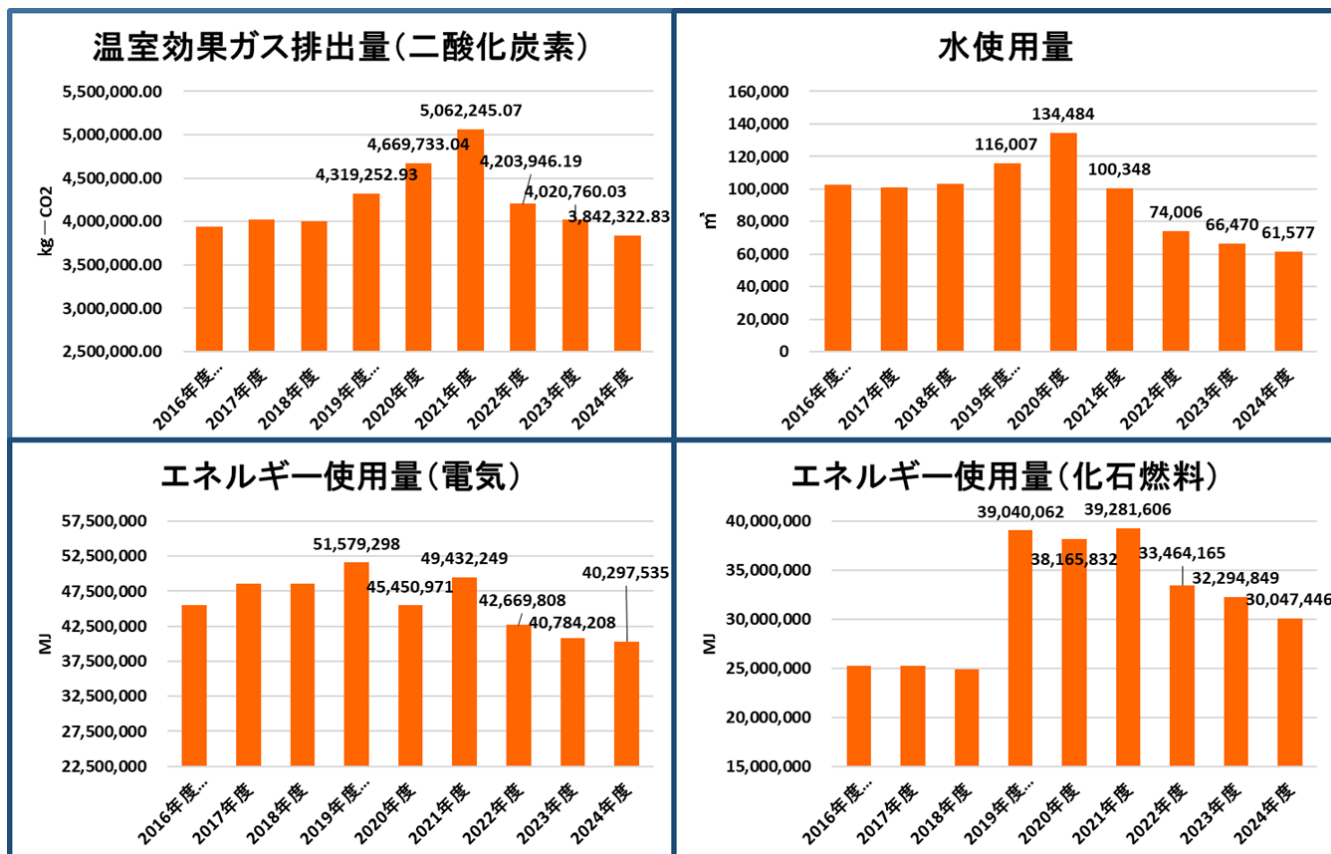
発行日：2025 年 3 月 1 日

【4】環境負荷の調査結果と取組み状況まとめ

環境負荷削減の目標及び環境活動計画を策定するため、本社・高崎工場は過去 9 年間の環境負荷実績の調査結果です。全社については 2016 年からの 9 年間の環境負荷実績の調査結果です。PC めっき工場は 2019 年からの 6 年間の環境負荷実績の調査結果です。

全社計

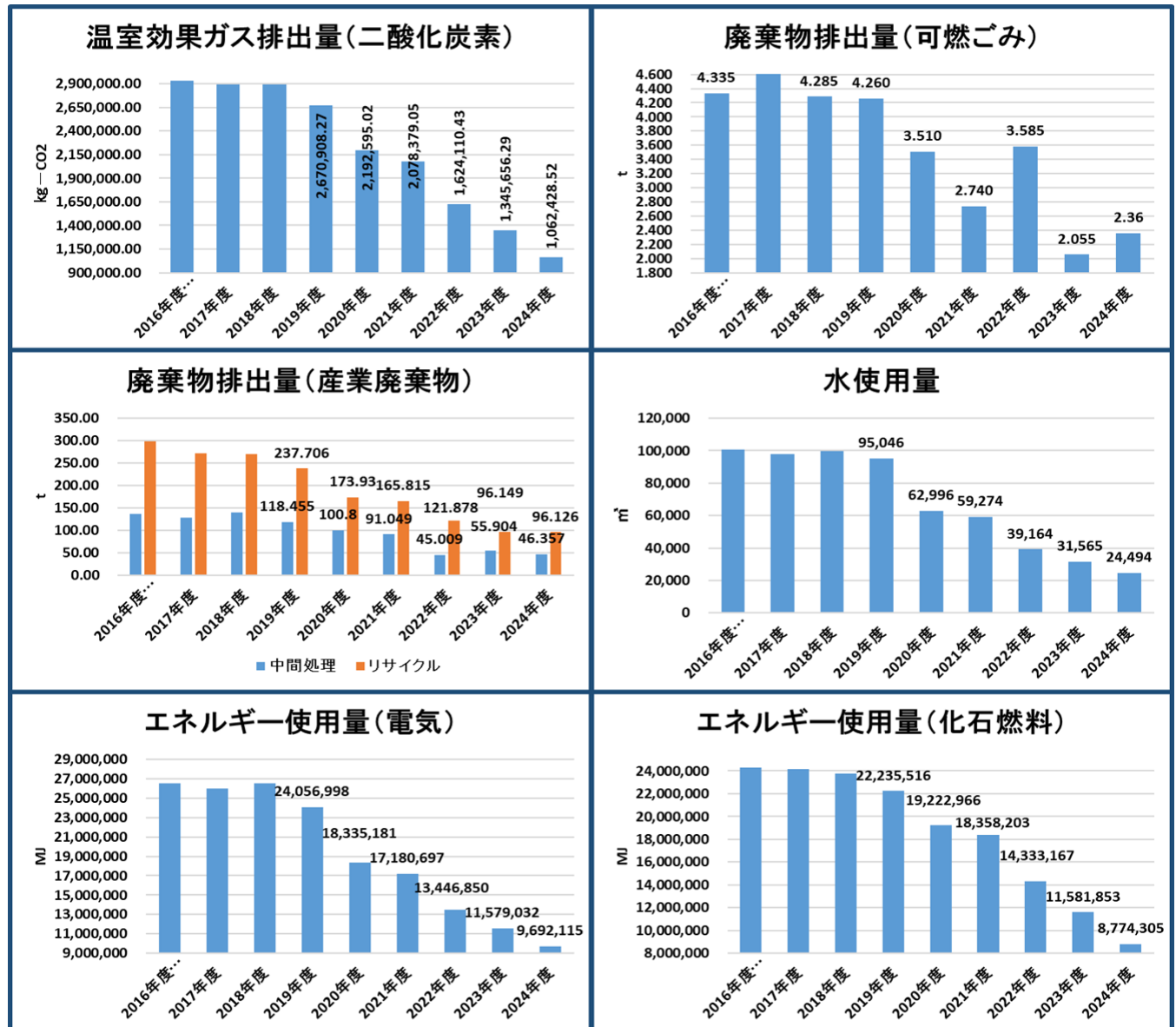
二酸化炭素排出係数(東京電力 2017 年):0.462(kg-CO₂/kwh)



環境負荷と調査結果

本社・高崎工場

二酸化炭素排出係数(東京電力 2017 年): 0.462 (kg-CO₂/kwh)



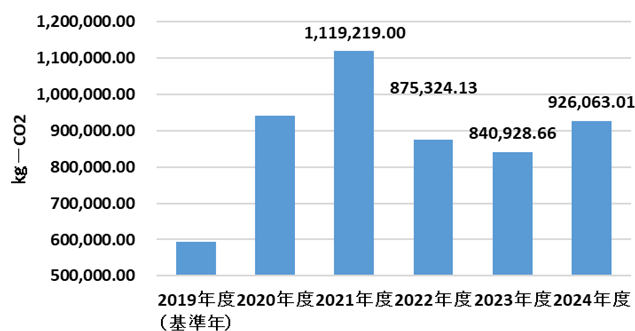
廃棄物置場 清掃・整理・整頓 (本社・高崎工場)



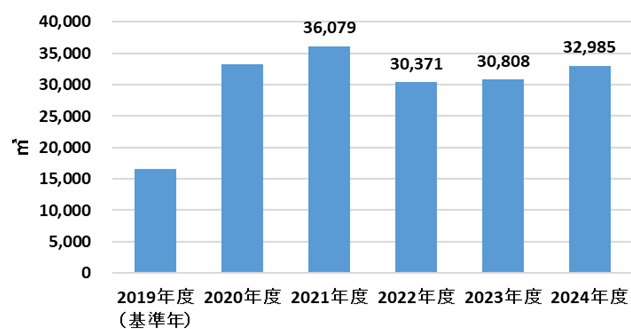
PC めっき工場

二酸化炭素排出係数(東京電力Ⅰ 2017 年): 0.462 (kg-CO₂/kwh)

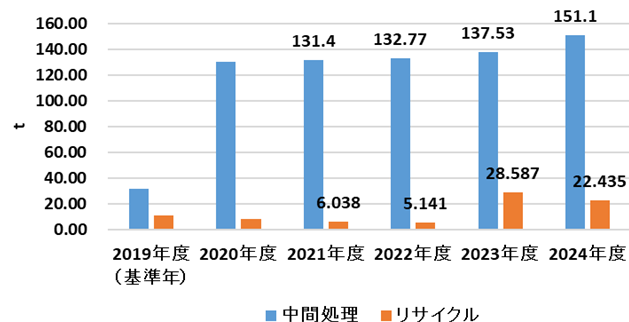
温室効果ガス排出量(二酸化炭素)



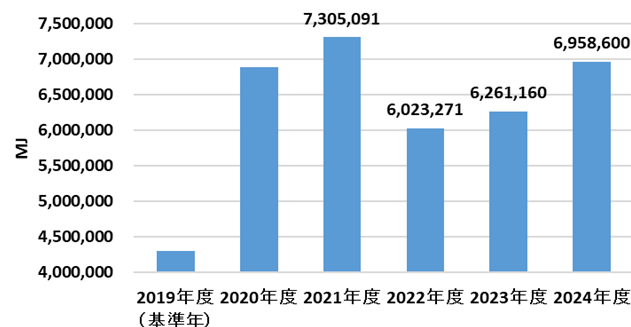
水使用量



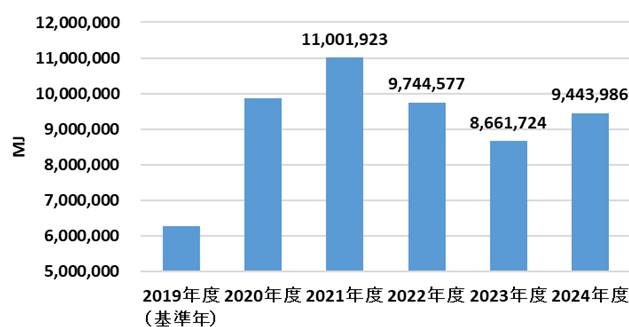
廃棄物排出量(産業廃棄物)



エネルギー使用量(化石燃料)



エネルギー使用量(電気)



2022 年 11 月 新設の太陽光発電システム (PC めっき工場)



取組状況(写真)

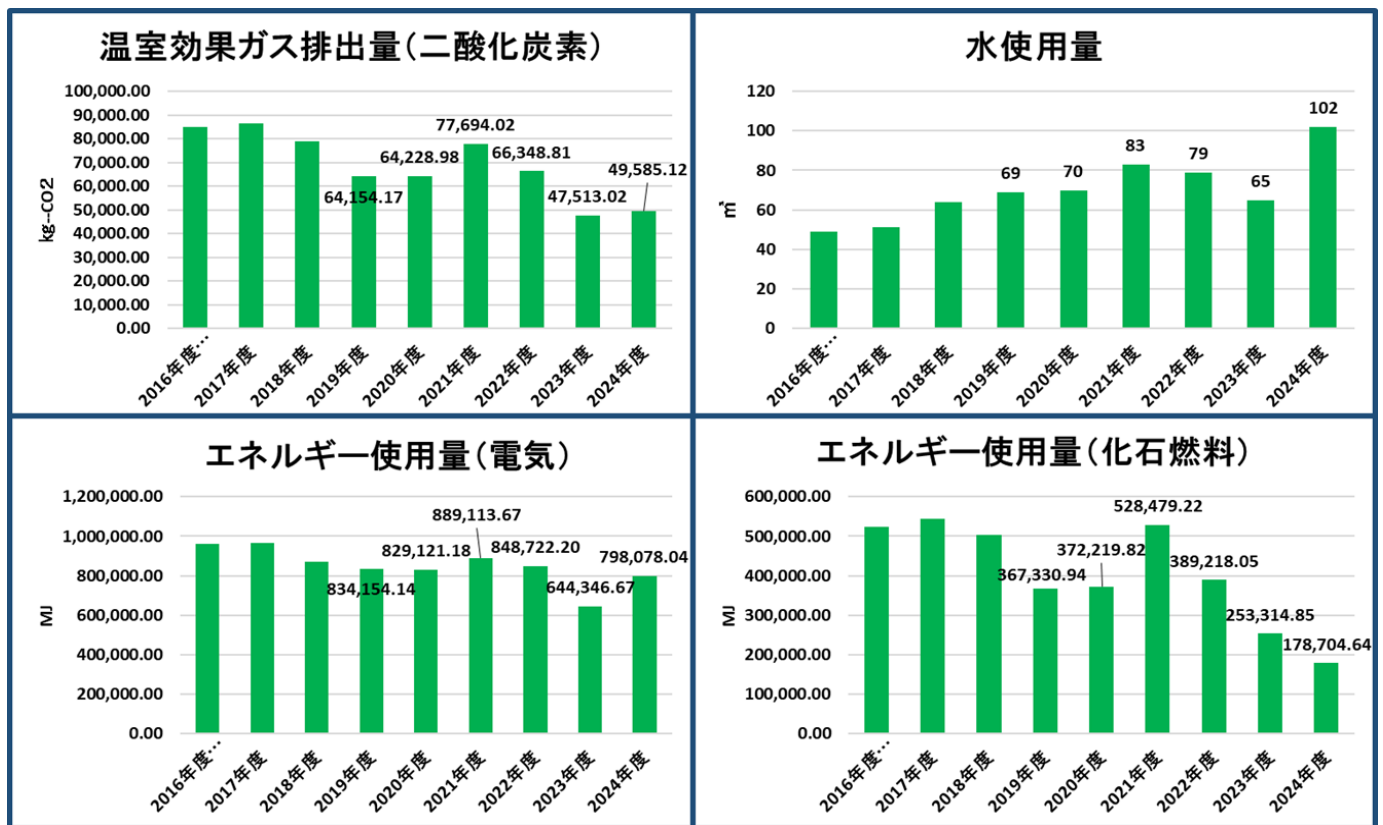
緊急時対応訓練 ・ 消防訓練 ・ 避難訓練（本社・高崎工場 / PC めっき工場）



排水ピット、排水処理槽、側溝 清掃 ・ 配管保温修繕 作業（本社・高崎工場）



環境負荷の調査結果



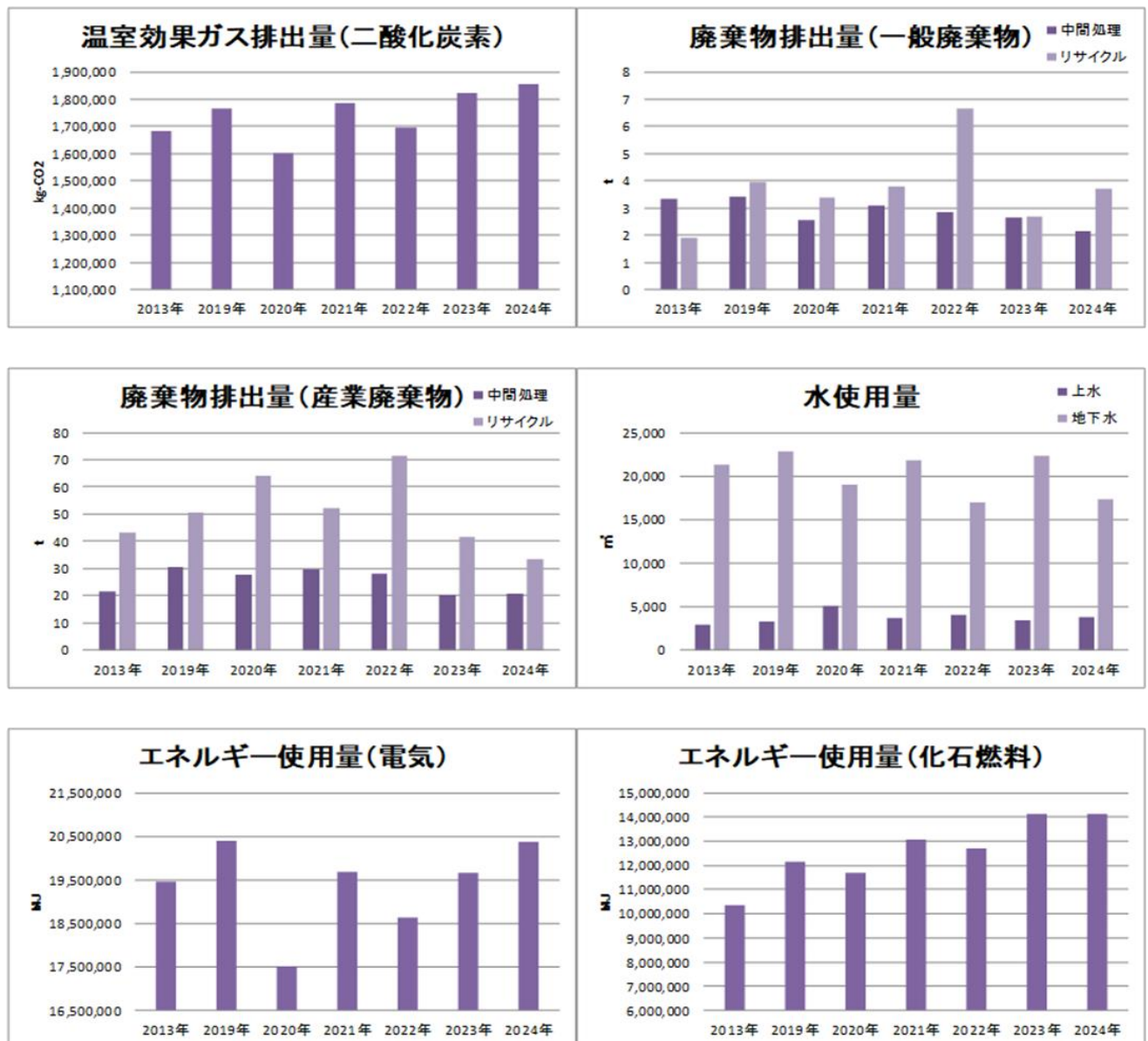
5S 活動 事業所内 整理・整頓・清掃 (川越事務所)



環境負荷の調査結果

第二工場

二酸化炭素排出係数(東京電力 2017 年): 0.462(kg-CO₂/kwh)



近隣中学校生による職業訓練実習



取組状況(写真)

近隣小学校児童による工場見学



近隣小学校児童による工場見学



ダイカスト 貯水槽清掃



消防・消火、防災、避難訓練 ・ 緊急時対応訓練



天井が燃えた場合を想定



【5】環境目標とその実績

当社の環境目標は、2016 年度の環境負荷実績を基準とし、2026 年度までの目標を下記の通り設定し活動を開始いたしました。尚、2024 年度短期の実績は、2024 年 1 月から 12 月の 1 年間のデータです。

- 1) 環境目標と環境負荷・実績・短期目標、次年度・中期目標は、全て 16 年度(基準年)に対しての削減率です。
- 2) 本社・高崎工場、川越事務所については、2016 年実績を新たに基準値として見直ししています。
- 3) PC めっき工場の目標は、2019 年実績で新たに活動を開始しました。
- 4) 全社短期実績は、PC めっき工場増設に伴い加算されています。



全社

取組 項目	担当 区分	2016 年度実績 (基準値)	短期目標 (2024 年度)	短期実績 (2024 年度)	次年度 目標 (2025 年度)	中期目標 (2026 年度)
電気使用量の削減	全社	総電気使用量 4,631,002.00KWh (2,338,656.00kg)	7%削減 4,306,831.86KWh (1,989,756.32kg)	 4,099,444.00KWh (1,893,943.13kg) (11.48% 減)	8%削減	9%削減
燃料使用量の削減	本社 高崎工場 PC めっき工場 製造部	① A 重油の削減 608,000.00L (1,647,680.00 kg)	7%削減 565,440.00L (1,532,342.40 kg)	 394,500.00L (1,069,095.00kg) (35.12% 減)	8%削減	9%削減
	全社 営業部/生管部 品管部	② 営業車、社用車 (ガソリン)の削減 26,059.21L (60,509.49 kg)	7%削減 24,235.07L (56,225.36 kg)	 12,745.91L (29,570.51 kg) (51.09% 減)	8%削減	9%削減
		③ トラック(軽油)の削減 4,812.89L (12,629.02 kg)	7%削減 4,475.99L (11,548.05 kg)	 1,613.38L (4,162.52 kg) (66.48% 減)	8%削減	9%削減
灯油の削減	本社 高崎工場 PC めっき工場 第二工場	灯油の削減 5,434.00L (13,530.66 kg)	7%削減 5,053.62L (12,583.51 kg)	 4,163.00L (10,365.87 kg) (23.39% 減)	8%削減	9%削減
ガスの削減	本社 高崎工場 第二工場	ガスの削減 180,879.83 kg (542,639.49 kg)	7%削減 168,218.54 kg (504,654.72 kg)	 278,228.57 kg (834,685.71 kg) (53.82% 増)	8%削減	9%削減
水資源使用量の削減	全社	水資源使用量の削減 102,553.00 m ³	7%削減 95,374.29 m ³	 61,577.00 m ³ (39.96% 減)	8%削減	9%削減

本社・高崎工場

取組 項目	担当 区分	2016 年度実績 (基準値)	短期目標 (2024 年度)	短期実績 (2024 年度)	次年度 目標 (2025 年度)	中期目標 (2026 年度)
1-1. 電気使用量の 削減	本社・工場 全体	総電気使用量 2,702,436.00KWh (1,229,608.38kg)	7%削減 2,513,265.65KWh (1,161,128.65kg)	 985,973.00KWh (455,519.53kg) (63.52% 減)	8%削減	9%削減
1-2. 燃料使用量の 削減	製造部	A 重油の削減 608,000.00L (1,647,680.00 kg)	7%削減 565,440.00L (1,532,342.40 kg)	 217,000.00L (588,070.00kg) (64.31% 減)	8%削減	9%削減
	営業部/生管課 品管部	営業車、社用車 (ガソリン)の削減 12 台 10,895.21L (25,298.68 kg)	7%削減 10,132.55L (23,507.52 kg)	 4,479.94L (10,393.46 kg) (58.88% 減)	8%削減	9%削減
		トラック(軽油)の削減 1 台 372.60L (977.70 kg)	7%削減 346.52L (894.02 kg)	 314.76L (812.08 kg) (15.52% 減)	8%削減	9%削減
2. 廃棄物量の削減 とリサイクル化	総務部/経理部 営業部/生管課 購買課/品管部 めっき技術課/ 製造部	総廃棄物量の削減 4,340.00kg	7%削減 4,031.55kg	 2,360.00kg (45.56% 減)	8%削減	9%削減
	製造部	総廃棄物量の削減 441.28t	7%削減 410.39t	 173.52t (60.69% 減)	8%削減	9%削減
3. 水資源使用量の 削減	製造部	水資源使用量の削減 102,553.00 m ³	7%削減 92,719.42 m ³	 24,494.00 m ³ (76.12% 減)	8%削減	9%削減
4. 化学物質の削減	製造部	化学物質の削減 144,299.00 kg	7%削減 134,198.07kg	 35,206.00kg (75.60% 減)	8%削減	9%削減
5. 不良の削減	品質管理部	2016 年度 品質目標	2024 年度 品質目標	 未達成	2025 年度 品質目標	2026 年度 品質目標

PC めっき工場

取組 項目	担当 区分	2019 年度実績 (基準値)	短期目標 (2024 年度)	短期実績 (2024 年度)	次年度 目標 (2025 年度)	中期目標 (2026 年度)
1-1. 電気使用量の 削減	製造部	総電気使用量 639,246.00KWh (295,331.65kg)	5%削減 607,283.70KWh (280,565.07kg)	 960,731.00KWh (443,857.72kg) (50.59% 増)	6%削減	7%削減
1-2. 燃料使用量の 削減	製造部	A 重油の削減 110,000.00L (298,100.00 kg)	5%削減 104,500.00L (283,195.00 kg)	 177,500.00L (481,025.00kg) (61.36% 増)	6%削減	7%削減
2. 廃棄物量の削減	製造部	総廃棄物量の削減 42.28t	5%削減 40.17t	 151.10t (257.38% 増)	6%削減	7%削減
3. 水資源使用量の 削減	製造部	水資源使用量の削減 16,621.00 m ³	5%削減 15,789.95 m ³	 32,985.00 m ³ (98.45% 増)	6%削減	7%削減
4. 化学物質の削減	製造部	化学物質の削減 17,190.00 kg	5%削減 16,330.50kg	 36,880.00kg (114.54% 増)	6%削減	7%削減
5. 不良の削減	品質管理部	2019 年度 品質目標	2024 年度 品質目標	 未達成	2025 年度 品質目標	2026 年 品質目標

川越事務所

取組 項目	担当 区分	2016 年度実績 基準値	短期目標 (2024 年度)	短期実績 (2024 年度)	次年度 目標 (2025 年度)	中期目標 (2026 年度)
1-1. 電気使用量の 削減	本社営業部 総務部 経理部	総電気使用量 97,963.00kwh (44,573.17 kg)	4%削減 94,044.48KWh (43,448.55kg)	 81,188.00kwh (37,508.86 kg) (17.12% 減)	5%削減	6%削減
1-2. 燃料使用量の 削減	本社営業部 総務部 経理部	営業車、社用車 (ガソリン)の削減 4 台 9,660.13L (22,430.82 kg)	4%削減 9,273.73L (21,515.05 kg)	 3,521.12L (8,176.04 kg) (63.55% 減)	5%削減	6%削減
		トラック(軽油)の削減 2 台 4,812.89L (12,417.26 kg)	4%削減 4,620.37L (11,920.55 kg)	 1,298.62L (3,407.58 kg) (73.39% 減)	5%削減	6%削減
2. 水資源使用量の 削減	本社営業部 総務部 経理部	水資源使用量の削減 49.00 m ³	4%削減 47.04 m ³	 102.00 m ³ (108.16% 増)	5%削減	6%削減

第二工場は 2014 年 10 月より活動を開始致しました。環境目標は、2013 年度の環境負荷実績を把握し、2026 年度までの目標を下記の通り設定。尚、2024 年度短期の実績は、2024 年 1 月から 12 月の 1 年間のデータです。環境目標と環境負荷・実績・短期目標、次年度・中期目標は、全て 2013 年度に対しての削減率です。

第二工場

取組 項目	担当 区分	2013 年度実績 (基準値)	短期目標 (2024 年度)	短期実績 (2024 年度)	次年度 目標 (2025 年度)	中期目標 (2026 年度)
1-1. 電気使用量の 削減	総務部	総電気使用量 1,980,041kwh (914,779kg)	11%削減 1,762,236kwh (814,153kg)	 2,071,552kwh (957,057kg) (4.62% 増)	12%削減	13%削減
1-2. 燃料使用量の 削減	営業部	営業車、社用車 (ガソリン)の削減 11,099ℓ (25,769kg)	11%削減 9,878ℓ (22,934kg)	 4,745.0ℓ (11,016kg) (57.25% 減)	12%削減	13%削減

取組 項目	担当 区分	2013 年度実績 (基準値)	短期目標 (2024 年度)	短期実績 (2024 年度)	次年度 目標 (2025 年度)	中期目標 (2026 年度)
1-2. 燃料使用量の 削減	営業部 製造部	灯油の削減 3,308ℓ (8,243kg)	11%削減 2,944ℓ (7,336 kg)	 2,253ℓ (5,614 kg) (31.89% 減)	12%削減	13%削減
		液化石油ガス(LPG) の削減 194,602 kg (584,186 kg)	11%削減 173,196 kg (519,926 kg)	 276,672 kg (830,558 kg) (42.17% 増)	12%削減	13%削減
2. 廃棄物量の削減 とリサイクル化	総務部	一般廃棄物量の削減 3.33t	11%削減 2.96t	 5.84t (75.38% 増)	12%削減	13%削減
	金型部 製造部	廃棄物量の削減 64.96t	11%削減 57.81t	 53.99t (16.89% 減)	12%削減	13%削減
3. 水資源使用量の 削減	総務部 製造部	水資源使用量の削減 24,216 m ³	11%削減 21,552 m ³	 21,060.8 m ³ (13.03% 減)	12%削減	13%削減
4. 化学物質の削減	金型部 製造部	化学物質の削減 1,144kg	11%削減 1,018kg	 524.78kg (54.12% 減)	12%削減	13%削減
5. グリーン商品の 購入	購買課	既存購入品に追加	100 品目	 99 品目購入	100 品目 ※1	100 品目 ※1
6.不良の削減	品質管理課	不良金額率 2.50%	不良金額率 2.50%	 未達成	不良金額率 2.50% ※1	不良金額率 2.50% ※1

※1 前年度の実績を考慮して目標を決定

【6】環境活動計画の取組み結果と評価、次年度の取組み

本社・高崎工場、PC めっき工場、川越事務所

取組項目	評価	次年度の取組内容
電気使用量の削減 冷暖房温度の適正化 省エネ設備への更新検討	目標達成 (PC めっき工場のみ未達) 本社工場での削減結果が非常に大きかった。効率的な稼働による結果と思われる。	今後も継続して更に効率的稼働方法を検討し節電に努める。
燃料使用量の削減 (ガソリン・軽油・重油) 効率の良い配車・エコドライブ 効率の良いボイラー稼働	目標達成 (PC めっき工場 未達) 本社工場の減少結果が非常に大きかった。また、社用車の台数削減も効果ありと見える。	生産量の増加に備えて品質向上と効率的な生産に努める。
水使用量の削減 製造ライン 洗浄方法の見直し 製造ライン 開閉手順	目標達成 (PC めっき工場・川越事務所未達) 本社工場の大幅な削減により、他 2 事業所の増加分を上回る削減となった。	上記同様、生産量の増加に備えて品質向上と効率的な生産に努める。
廃棄物の削減 分別の徹底、再利用 クロム酸回収	本社工場: 大幅目標達成 PC めっき工場: 目標未達 品質向上・不良削減の結果と同様となっている。	更なる品質改善活動の強化。 再資源化・リサイクル資源への検討の継続。
不良の削減 5S、提案、5G 活動推進	本社工場・PC めっき工場 共に目標未達 年度途中まで低不良率の為 10 月～目標変更し更に高い目標であり年度後半が未達。	更なる品質改善活動の強化。 引続き全社員一丸となつての品質向上活動の継続

高崎第二工場

取組項目	評価	次年度の取組内容
電気使用量の削減 冷暖房温度の適正化 省エネ設備への更新検討	生産量増大に伴い、電気使用量も多くなり目標を達成する事が出来なかった。	エアコン責任者選出など、一般社員にも環境を意識した役割分担を持たせ推進していく。
燃料使用量の削減 (ガソリン・灯油・LPG) 効率の良い配車・エコドライブ アルミインゴットの予熱	アルミ溶解・保持に必要な LPG は仕事量に応じて増加してしまう。 ガソリン・灯油は目標達成。	仕事量に応じて LPG 使用量の目標達成は難しくなるが、不良削減を目標とすれば自ずと見えてくる。
水使用量の削減 節水表示、啓蒙 金型冷却方法の改善	こちらも仕事量に応じて増加傾向であるが、節水活動により計画達成。	不良削減に伴い、更なる水使用量の削減に努める。
廃棄物の削減 分別とリサイクル 金属、アルミくずの有価物化	一般廃棄物は計画未達。 産業廃棄物は計画達成出来た。	プラごみの再資源化をより強化し、一般廃棄物の削減を推し進める。
化学物質の削減 破損工具の有価物化と 再研磨による購入削減、長寿命化	金型工場における金型作成の減少により化学物質使用量は減少となった。	事業規模縮小に伴い減少傾向継続。外部委託による金型作成にて目標を完遂予定。
不良の削減 全員参加による 5G 活動推進 不良品の再利用	品質目標に対して未達。 難易度が高い鑄造後の後処理を行う製品での不良増加が目立った。	品管・製造共同にて金型温度設定を年間通じて記録し、金型温度による良品管理を行う。

【7】環境関連法規への違反、訴訟等の有無

7-1. 当社に適用となる主な環境関連法規

【法令】	【当社の取組】	【遵守状況】
・特定工場の公害防止組織の整備に関する法律	・公害防止統括者・管理者の選任、届出	遵守
・大気汚染防止法	・環境測定の実施	遵守
・水質汚濁防止法	・水質測定の実施、公害防止管理者の選任、届出	遵守
・特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(化管法)	・PRTR制度、排出量の把握及び届出	遵守
・廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・管理責任者の選任 ・委託契約書、マニフェスト、産業廃棄物管理票の管理 ・計画及び実施状況の提出・処理先現地審査	遵守
・騒音規制法	・規制基準の順守、自主測定実施	遵守
・振動規制法	・設置届出・規制基準の順守	遵守
・悪臭防止法	・規制基準の順守	遵守
・毒物及び劇物取締法	・取扱い責任者の選任、届出 ・表示(容器、貯蔵所) ・盗難、紛失、漏洩、地下浸透の防止処置	遵守
・労働安全衛生法	・安全、衛生、管理者及び産業医の選任、届出 ・定期一般健康診断実施 ・安全衛生委員会の開催	遵守
・電気事業法	・主任技術者の選任、届出 ・定期保安検査実施	遵守
・消防法	・防火管理者の選任、届出 ・消防計画の届出、消防設備点検報告書の提出 ・消防訓練の実施	遵守
・工場立地法	・特定工場の届出	遵守
・フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)	・簡易点検実施 ・廃棄の際、第一種フロン類回収業者に依頼	遵守
・エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)	・管理統括者・企画推進者・管理員の選任、届出 ・エネルギー使用量の把握、定期報告	遵守
・下水道法	・設置許可	遵守
・道路交通法	・安全運転管理者選任、届出・法定速度遵守	遵守
【規則・条例・その他の要求事項】	【当社の取組】	【遵守状況】
・県条例 大気の保全に関する規則	・環境測定(年2回)	遵守
・県条例 水質の保全に関する規則	・水質測定	遵守
・群馬県地球温暖化防止条例	・エネルギー使用量把握 ・排出状況報告書、排出削減計画書提出 ・自動車のアイドリングストップ周知徹底	遵守
・高崎市等広域市町村圏振興整備組合火災予防条例	・設備等の設置届出	遵守
・高崎市等広域市町村圏振興整備組合危険物規制規則	・設備等の届出・定期点検実施	遵守
・全国鍍金工業組合連合会の指導	・水質測定及び結果報告(毎月)	遵守

7-2. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

EMS 活動を始めた 2001 年より 22 年間、環境関連法規への違反は 1 件もありません。
また、関係当局からの違反等の指摘、環境に関する訴訟等も 1 件もありませんでした。

【環境への配慮】

環境への負荷低減を一番に考え、環境活動に積極的に取り組んでいます。

本社・高崎工場は製造部環境保全課、第二工場は生産技術課にて特定施設の維持管理、排出水の管理等、廃棄物の管理、設備の管理を行っています。

特に排出水については、排水基準より厳しい自主管理基準を設けて水質の保全に努めています。

限りある資源を効率的に使用し、環境への負荷を減らしていく循環型社会を進める活動である3R運動にも力を入れて取り組んでいます。

3R 運動

・発生抑制(リデュース)

ゴミになるものを作らない・使わない

・再使用(リユース)

一つのことを大切にし、繰り返し使う

・再資源化(リサイクル)

使い終わったらまた資源として利用する



【8】代表者による全体評価と見直しの結果

2024年度は、コロナ禍以降中期的に慢性化してしまっているめっき事業での受注低迷により、めっきラインの生産量減少から稼働停止日を設けざるを得ない状況であった。PCめっき工場の生産は若干回復したかと感じられたが、本社高崎工場の稼働減少は顕著で深刻となった。

対称的にダイカスト事業である第二工場の受注・生産状況は好調であり、稼働停止日も無く順調であった。このため、エネルギー使用量は生産状況に比例し、第二工場・PCめっき工場での環境目標のクリアは厳しかったが、本社高崎工場でのエネルギー使用量減少が目標達成に大きく影響した。

環境を考慮した生産活動は現代の製造業における義務・重要課題であることを念頭に、今後もエコアクション21活動の継続と地域社会に貢献する企業として全社員一丸となり努力して行きます。

